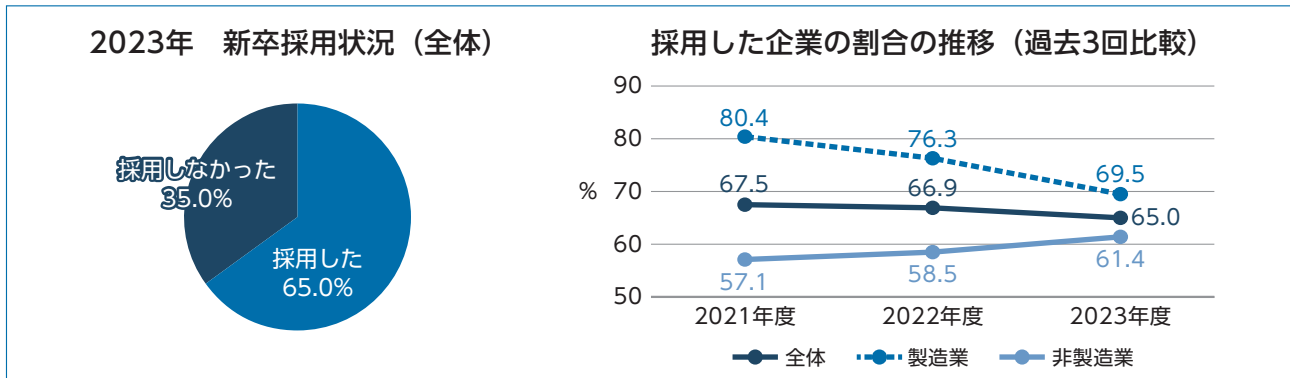


調査日：2023年5月～6月 回答数：全体183（内製造業82、内非製造業101）

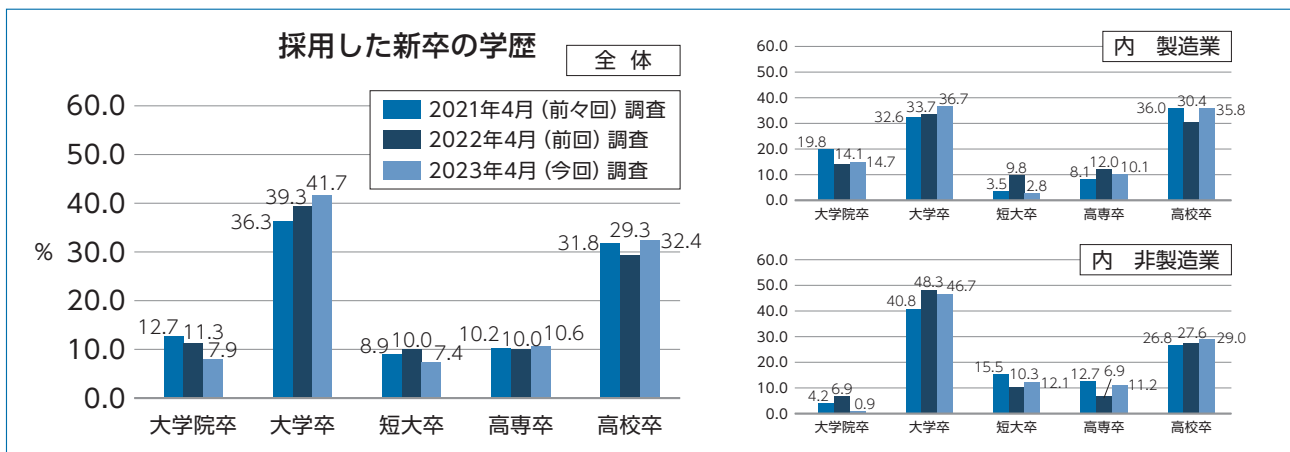
1. 2023年度（2023年4月採用）の新卒者採用の有無及び2024年度（2024年度4月採用）計画について

（1）2023年4月新卒採用を行いましたか。



◇全体では昨年から1.9%減少とほぼ横ばいだが、2021年度と比べると製造業は新卒採用率が減少し、非製造業は伸び、ほぼコロナ前の水準に戻っている。

（2）採用した新卒の学歴（複数回答可）



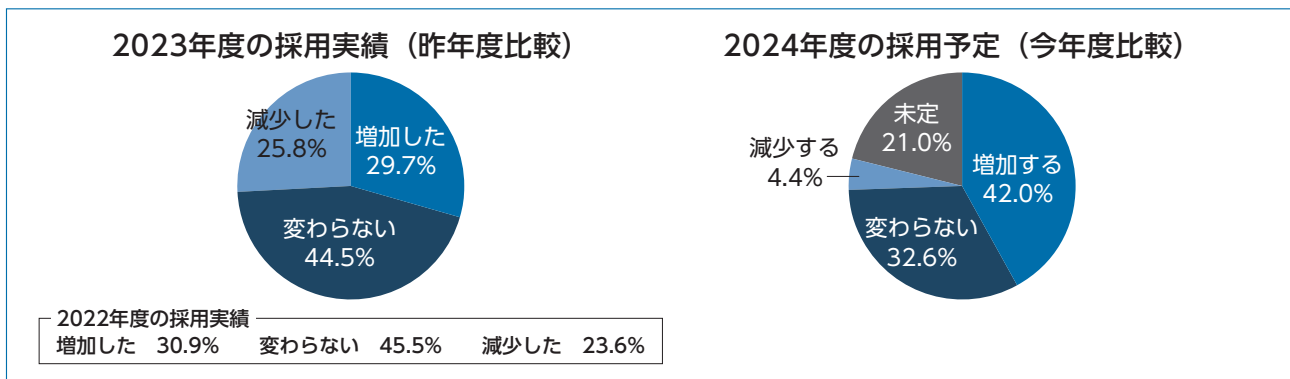
◇学歴別では大学卒の採用比率が最も多く、次いで高校卒、高専卒、大学院卒、短大卒となっている。
◇非製造業では大学卒重視の傾向が続いている。製造業の高校卒が4.4%伸び、2021年度と同水準となっている。

（3）新卒採用をしなかった理由・・・（1）で採用しなかったと回答した企業の内訳

- ①採用の予定がなかった（31社）
- ②応募がなかった（17社）
- ③既卒採用を行った（9社）
- ④応募はあったが採用には至らなかった（5社）

◇新卒採用を行わなかったうち5割は採用の予定がなかったが、5割は採用活動を行っているにもかかわらず、採用に至らないまたは既卒採用で対応している。

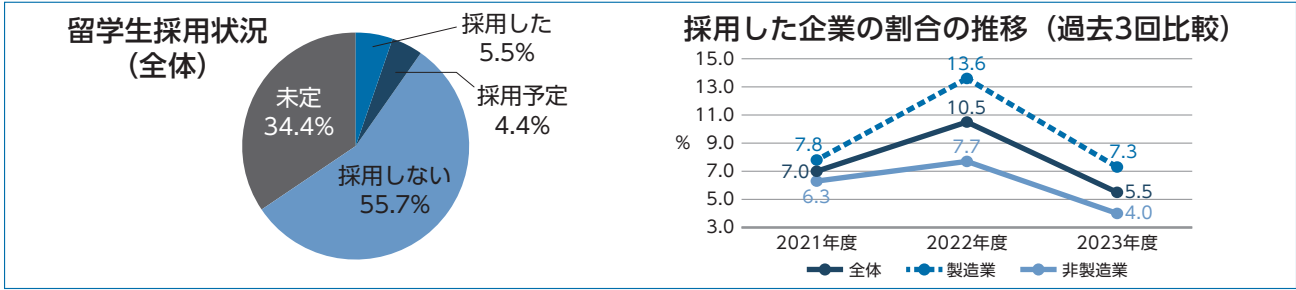
（4）2023年4月の採用実績と2024年度の採用予定について



◇2023年4月の採用実績は前年調査と比較すると、全体では増加した-1.2%、変わらない-1.0%、減少した+2.2%であり、同程度を維持している。また、2024年度の採用予定は、全体では増加する+9.7%、変わらない-10.1%、減少する-2.1%、未定+2.5%であり、改善が見込まれる。

2. 外国人留学生の採用について

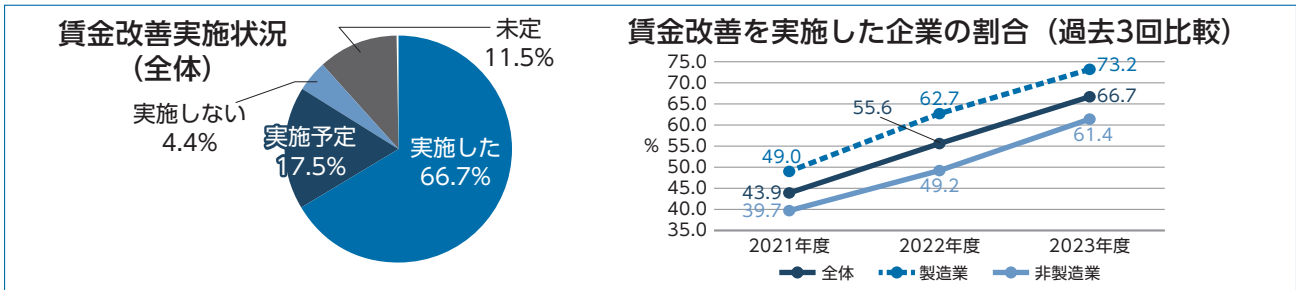
(1) 2023年度中（2023年4月～2024年3月）に外国人留学生を採用した、または採用する予定がありますか？



◇外国人留学生を「採用した」・「採用予定」の全体は9.9%と前年と比べて-6.2%であった。「採用した」企業の割合は、昨年がコロナ前と比べて大幅増であったが、今年度はコロナ前より微減となった。

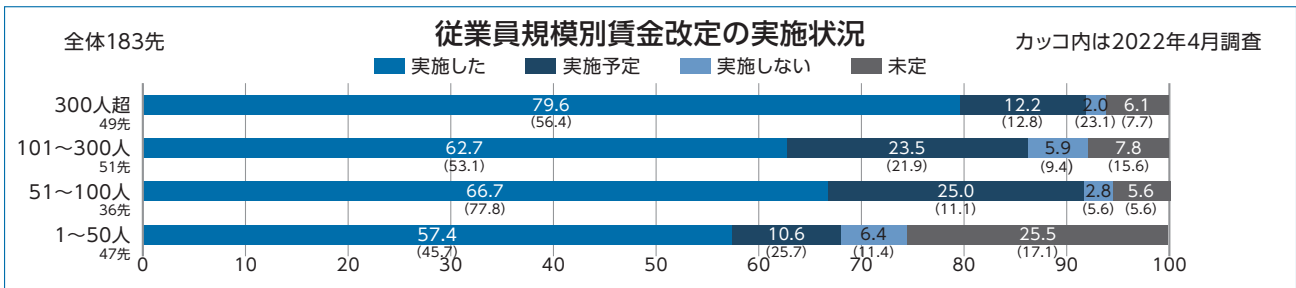
3. 2023年度の賃金改善結果 (見込み) について

(1) 2023年度は賃金改善を実施しましたか？



◇賃金改善を「実施した」・「実施予定」の比率合計値は、全体は84.2%と前年比+10.1%であった。改善傾向が続いており、コロナ前の水準を大きく上回っている。

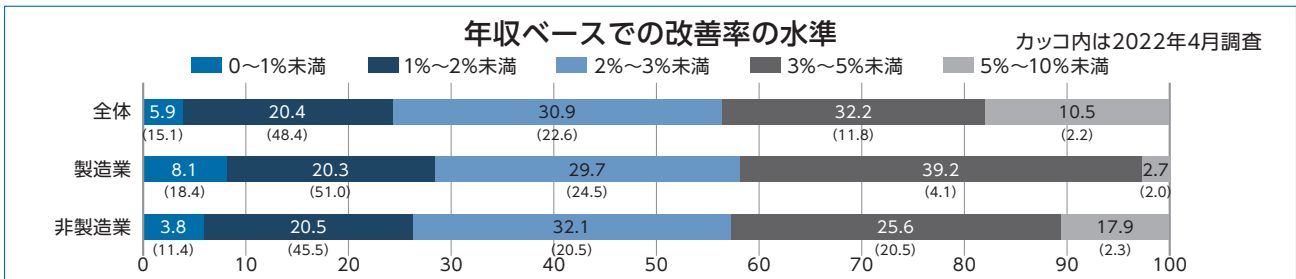
* 従業員数別賃金改定の実施状況



◇「実施した」・「実施予定」の比率合計値を前年度と比較すると、従業員300人超は91.8%で+22.6%、従業員101~300人は86.2%で+11.2%、従業員51~100人は91.7%で+2.8%、従業員1~50人は68.0%で-3.4%となっており、従業員101人以上の企業で増加傾向が高い。

(2) 年収ベースでの改善率の水準は？

(1) の質問で、「実施した」及び「実施する予定」と回答した先に質問



◇年収ベースの改善率水準は、全体では「3~5%未満」が32.2%と最も多く、次いで「2~3%未満」が30.9%、「0~1%未満」が20.4%となっている。

前年度の水準と比較すると、製造業は「3~5%未満」、非製造業は「5~10%未満」の割合が大きく増加していて、全体としても改善率の水準が高くなっている。

◇参考として、経団連が実施した従業員数500人未満の中小企業の2023年春闘妥結状況の第1回集計の賃上げ率は2.94% (前年の同調査1.97%) である。